

栃木県中山間地域活性化 シンポジウム

協 力 : 栃木県中山間地域活性化推進協議会、宇都宮大学地域連携教育研究センター、
とちぎ協働デザインリーグ

栃木県の中山間地域が、これからもさらに魅力ある地域として発展していくためには、地域活性化のノウハウを持った地域づくりの担い手の育成とともに、NPO、企業、大学等の外部人材と連携して活動していくことも重要です。そこで、中山間地域の活性化を図るため、里づくりの担い手養成と多様な人材との連携をテーマとし、本シンポジウムを開催します。

日時 2月10日(土)
13:30~16:30

会場 宇都宮大学峰キャンパス
5B22 教室 (宇都宮市峰町 350)

参加費 無料
定員 100名

基調講演

栃木の田舎は宝の山

都市と農村をつなげて地方を再生する

NPOえがおつなげて 代表理事 曾根原 久司

【講師プロフィール】

長野県出身。大学卒業後、金融機関等の経営コンサルタント等を経て、東京から山梨の農村地域へ移住。2001年NPO法人えがおつなげてを設立。耕作放棄地や森林資源といった農村資源の活用を、三菱地所グループなど多数の企業との連携で行うことによって、農村の活性化に取り組んでいる。現在は、山梨のみならず、全国の農村地域の活性化の支援や人材育成を、総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師等として取り組んでいる。また2014年、世界をリードするソーシャル・アントレプレナーとして、アショカフェローに選出される。

表彰：日経ソーシャルイニシアチブ大賞 大賞受賞（H26年度）日本経済新聞社 日本農業賞「食の架け橋の部」大賞受賞（H25年度）日本放送協会・全国農業協同組合中央会・農業協同組合中央会など多数

著書：『日本の田舎は宝の山』（日本経済新聞出版社）

『農村起業家になるー地域資源を宝に変える6つの鉄則ー』（日本経済新聞出版社）

第二部 パネルディスカッション：里づくりの担い手と人材の連携

株式会社大田原ツーリズム 代表取締役 藤井 大介

NPO 法人くまの木 里の暮らし 事務局長 加納 麻紀子

とちぎ協働デザインリーグ 理事長 三橋 伸夫

コーディネーター：宇都宮大学地域デザイン科学部 教授 高橋 俊守

☆ 申込不要 ☆ 問合せ先：宇都宮大学地域デザイン科学部 TEL. 028-689-6233

プログラム

13:00

開 場

13:30

開 会

13:30

主催者あいさつ（栃木県農政部農村振興課長）

13:35

趣旨説明：高橋俊守（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）

13:45

基調講演：



栃木の田舎は宝の山

－ 都市と農村をつないで地方を再生する －

NPOえがおつなげて 代表理事 曾根原久司

14:50

休 憩

15:00

パネルディスカッション：里づくりの担い手と連携

コーディネーター：高橋俊守（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）

15:00

話題提供①

企業活動による連携と支援

株式会社大田原ツーリズム 代表取締役 藤井大介



15:15

話題提供②

中山間地域とNPO －くまの木の場合－

NPOくまの木 里の暮らし 事務局長 加納 麻紀子



15:30

話題提供③

企業と地域の連携の効果と課題

とちぎ協働デザインリーグ 理事長 三橋 伸夫



16:30

閉 会